

# 大阪作業療法 ジャーナル

Journal of the Osaka  
Occupational Therapy Association : **JOOTA**

**特集** 新時代の環境整備を提案する!



チワワ

カバ



Vol. 33 No. 2  
Jan 2020

**OT**  
SAKA

(一社)大阪府作業療法士会



## 大阪作業療法ジャーナル

第33巻 第2号

巻頭言 中川 正己 ..... 71

## 特集：新時代の環境整備を提案する！

- バリアフリー観光からユニバーサル観光へ  
～バリアフリー観光情報サイト「ばりかん！京都」の活動より～  
山本 英嗣 ..... 72
- 作業療法士の住居改善  
尼寺 謙仁 ..... 84
- 福祉車両の正しい普及に向けて（概論）  
藤野 康典 ..... 95
- 暮らしのリノベーション  
～作業療法士による新時代の環境整備～  
久保田好正 ..... 100

## 投稿論文

- 乳がん術後退院時の肩関節屈曲可動域制限に影響する  
運動時痛の量的評価  
藤本 侑大 ..... 112
- 統合失調症患者の声による情動表出能力について  
～予備的研究～  
福原 啓太 ..... 117

## 知っていますか？

- 指定規則改正と診療参加型臨床実習の概略  
松下 太 ..... 123

書評カフェ 加藤 敏一・橋本 晋吾・古原 将馬 ..... 131

## となりの街の作業療法士

- 急性期・回復期でのMTDLPの活用  
～MTDLP委員会での活動を通して～  
前田 太輝 ..... 134
- 地域活動支援推進部の活動を通じて  
葛本 尚展 ..... 138

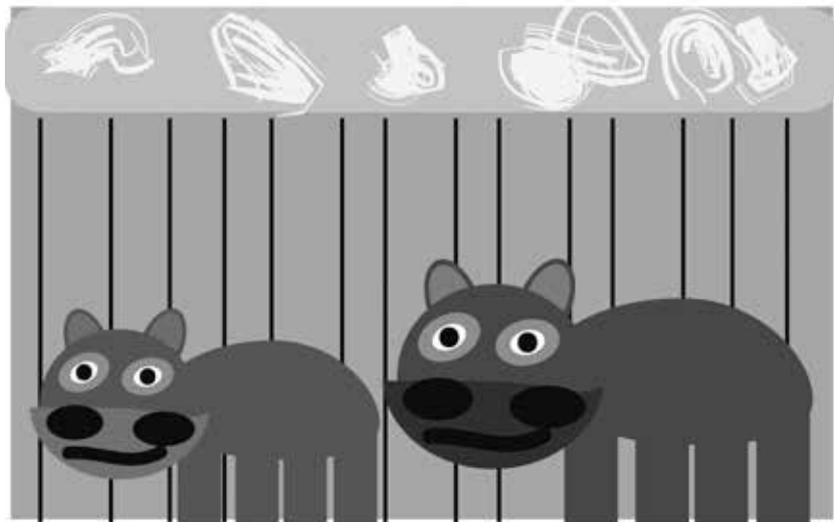
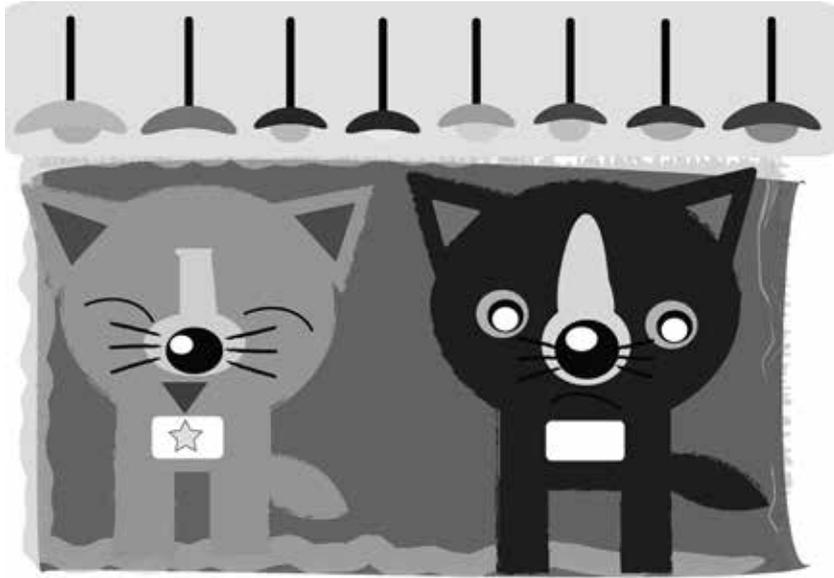
投稿規定 ..... 143

執筆要領 ..... 145

投稿論文チェックシート ..... 147

編集後記・部員名簿 ..... 148

## 表紙について



僕は幼少期からイラストを描くのが大好きでよく24色の色鉛筆でイラストを描いていました。僕はリハビリ病院で小学校2、3年生の時に入院し、自分の体のコントロールを学び退院しました。小学校卒業～中学生卒業までは勉強をたくさんしました。

高校は支援学校だったので進路で悩み作業所に行く時点で「自分の武器」を考えました。その時に考えた「自分の武器」は幼少期にとりくんだイラストを描くことでした。

作業所に就職をして1～2年目は上手く描けずさらに僕の体の特徴(アトピー)の影響もあり心で強く思ったり、動作を行ったりすると手のコントロールが効かなくなるので大変だった。3年目～現在は緊張する事が少なくなってきました。今では緊張せずになおかつイラストも描きたいイメージで描けていてとても楽しいです。

前田 えいじ

## 巻頭言

## 新時代の環境整備を提案する！

中川 正己

大阪労災病院

みなさんは“終活”という言葉はご存じだろうか？「人生の終わりのための活動」という意味であり、人間が自らの死を意識して、人生の最期を迎えるための様々な準備、そこに向けた人生の総括として使用されています。終活のテーマのひとつに、老後の住まいがあります。最後まで自宅に住み続けたいと思う人もいれば、より安心できる環境や施設への住み替えを検討する人もいます。いわゆる「終の棲家、もしくは終の住処（ついのすみか）」として表現されています。

平成30年度 高齢者の住宅と生活環境に関する調査結果〔内閣府〕では、「身体が虚弱化した時に住みたいところは現在の住宅である」と回答したのは28.7%であり、1995年の同調査の68.4%に比すれば随分低下しています。当時は、2世帯・3世帯住居が多く、親の面倒は子供がみる時代でした。最近では、核家族化や少子高齢化が進み、「親の面倒を見れない」、「子供に迷惑をかけたくない」という風潮が多く聞かれるようになりました。これからの時代は、自宅に返すための住環境整備ではなく、地域に返すための地域環境整備に重点を置く必要があるのではないのでしょうか。

障がい者や高齢者が自分らしい自立した生活を送り、それを継続するためのリハビリテーションアプローチの一つとして、環境整備や住宅改修があります。これは、部分的な改修に止まらず、屋外活動への参加を考慮して取り組まなければならないと考えます。しかし、障がい者や高齢者の残存機能、家族の意向や介護力、経済力など、さまざまな要因を総合的にアセスメントし、マネジメントをするのは非常に困難と考える人もいます。殊に、病院からの自宅退院においては、自宅内の生活動作と住環境を推察し、短期間で住宅改修や福祉用具の導入を進める必要があります。経験の少ないセラピストには、医学的な学習のみならず、専門的な知識やスキルを早々に併せ持つには至難の業と言えます。最近では、福祉住環境コーディネーター、福祉用具プランナーなどの専門的な有資格者が増えており、昨今の療法士の住環境へのアプローチの実態は必ずしも良いものばかりではないように思えます。作業療法士は、対象者の『自分らしい生き方』を支援することを職務としています。上記の調査結果のように、個々人のニーズに合わせた地域環境整備が提案できるように、いろいろな情報を収集し、専門性を高め、対象者に情報提供できるように、日々の研鑽や努力していただくことを期待します。ノーマライゼーションの考え方は、“してあげる・守ってあげる”⇒“する(自立・自律)ことへの支援”に転換することであると考えます。本特集においては、作業療法士としてどのように対応すべきかについて、各執筆者に述べていただきます。視野が広がるものばかりで、明日からの実践につながるものです。

## 大阪作業療法ジャーナルに広告を出しませんか



大阪作業療法ジャーナルは年2回(1月と7月)発行しています。大阪の作業療法士が学術的発表や特集などを通じ学ぶ雑誌です。大阪府作業療法士会会員(現在会員数2,500人)や大阪の作業療法学科養成校に配布され、一般にも販売されています。

広告はモノクロでA4 1ページ 3万円、1/2ページが2万円となります。

広告を希望される場合は、大阪府作業療法士会事務局までお願いします。

〒540-0004 大阪府中央区玉造2-16-8  
玉造井上ビル6階  
TEL : 06-6765-3375  
FAX : 06-6765-3376  
E-mail : jimmu@osaka-ot.jp

大阪作業療法ジャーナル  
第33巻 第2号

---

発行人：関本 充史

(一社)大阪府作業療法士会

〒540-0004 大阪市中央区玉造2-16-8 玉造井上ビル6階

TEL：06-6765-3375 FAX：06-6765-3376

URL：http://osaka-ot.jp E-mail：jimu@osaka-ot.jp

出版：株式会社セカンド

〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F

TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025



